

山本浩一郎

現在、シアトル交響楽団首席トロンボーン奏者を務める他、ワシントン大学での後進の指導、またセンターシティプラスクインテットのメンバーも務めるなど幅広く活躍している。これまでにニューヨーク・メトロポリタン歌劇場管弦楽団のトロンボーン奏者を10シーズン務め、2012年夏には、ニューヨーク・フィルハーモニックの客演首席奏者、メジャーオーケストラのメンバーで結成された **The All Star Orchestra** の首席奏者を務めた。

ソリスト、フリーランス奏者、室内楽奏者、指導者としても精力的に活動し、これまでにニューヨーク・フィル、メトロポリタン歌劇場室内管などで演奏、NHK交響楽団の客演首席奏者も務めた。またニューヨークや東京で、テレビや映画の録音にも多数参加している。アメリカ、アジア、ヨーロッパでリサイタルを開催、また多数のマスタークラスにも招聘され指導力には定評がある。

ソリストとして東京交響楽団、大阪市音楽団、アメリカ軍楽隊、ヤマハ吹奏楽団、ワシントン大学吹奏楽団、イースタンミュージックフェスティバル、台北吹奏楽団、**Symphonic Winds of Singapore**、シアトル交響楽団などと共演。メインゲスト奏者として2007年のイースタン・トロンボーン・ワークショップ（ワシントンDC）、2008年の国際トロンボーンフェスティバル（ソルトレイクシティ）に招聘された。

指導者としてアメリカ、アジアの様々な大学でマスタークラスを行っている。2アジア・トロンボーン・セミナー（2009年台湾）、**Trombone Day**（2009年熊野市）、**Curuso Internacional Semena Musical de Salseda**（2009年スペイン）、イースタンミュージックフェスティバル（2010年）、浜松国際管楽器アカデミー&フェスティバル（2010年）などでメインゲスト、講師を務める。

日本、海外のコンクールなどでの優勝、受賞歴も多く、これまでに1988年オーストラリアにおいて行われた国際トロンボーンコンクール第4位。1991年日本管打楽器コンクール第1位並びに大賞受賞。1992年プラハの春国際コンクールディプロマ賞受賞。同年スウェーデンのピテアにおいて最優秀ソロイスト賞を受賞。

東京都出身。元日本フィルハーモニー交響楽団トロンボーン奏者である父、辰夫氏にトロンボーンを師事、後に箱山芳樹氏に師事する。東京音楽大学付属高校入学後、1990年から1993年にハンガリーのブダペスト・リスト音楽院に留学。Gusztav Hoena、Sztan Tivadorの両氏に師事。同校在学中よりブダペスト祝祭管弦楽団の契約団員として参加。その後1994年から1996年までニューヨーク・フィル首席奏者Joseph Alessi氏に師事。

これまでに「Proof」、「Family Tree」（佼成出版社）、「Trombone Concerto」、「Ballade」（オクタヴィア）から計4枚のソロアルバムを発表、その卓越した技術と高い音楽性で好評を博している。

2008年よりヤマハパフォーミングアーティスト/クリニシャンとして活動している。
（使用楽器： YSL-8820R）

公式ウェブサイト：www.koichiroyamamoto.com